

小中学校のICT環境を整備します!

2020年度から全面実施する新学習指導要領*1では、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善や、小学校でのプログラミング教育の導入などが求められており、今年度から学校でのICT*2環境整備を進めていきます。

※1 全国のどの地域で教育を受けても、一定の水準の教育を受けられるようにするため、文部科学省が学校教育法などに基づき、各学校で教育課程を編成する際の基準を定めたもの。

※2 ICT (Information and Communication Technology) 「情報通信技術」の略称。

学校に整備するICT機器

ICT機器	電子黒板	実物投影装置	タブレット端末
整備基準	普通教室へ常設	普通教室へ常設	3クラスに1クラス分程度(平成30年度から3か年で整備)
機能	実物投影装置やタブレット端末と接続して、教科書や教材などを大きく映し出すことができます。提示機能のほか、画面を直接触つての操作、書き込み、保存などができます。	電子黒板と接続して、教科書や教材などの資料や実物を拡大して表示することができます。	ディスプレイ部分に指でタッチして、操作することができます。インターネットの閲覧のほか、写真撮影、動画撮影、文字の書き込みなどもできます。

活用の様子



子どもたちがタブレット端末を使って意見をまとめて発表したり、電子黒板に映し出された全員の意見と自分の意見を比べ、学びを広げたり深めたりすることができます。



調理の様子を写真や動画で撮影したり、調理の手順やポイントを作成するなど、授業の振り返りができます。
実物投影装置を使って手元を拡大し、包丁の使い方や縫い方などをわかりやすく説明することができます。

ICTを活用したこれからの学校教育

- 子どもたちの情報活用能力および教員のICT活用指導力の向上を図ります。
- 「知識・技能」を習得するだけでなく、子どもたちが自ら考え、判断し、表現し、これからの時代に求められる「資質・能力」を育成します。
- 教員が講義形式で一方向的に教えるのではなく、子どもたちが主体的に課題に向き合い、仲間と対話・協力しながら課題を解決するような授業を行います。これらにより、主体的・対話的で深い学びの実現を目指します。

教育情報室 (☎096-245-6310)



新しい「ごみ分別アプリ」スタート!!

「明日は何のごみの日だっけ?」このような皆さんの悩みを解消する便利な「ごみ分別アプリ」が、10月1日よりスタートします!ぜひスマートフォンもしくはタブレットにダウンロードしてお使いください!

アプリを使うとこんなに便利!

アプリを開くと、ごみカレンダーがすぐ見られる!

前日または当日、好きな時間に、何のごみの日か通知が届く!

「これは何ごみ?」そんな疑問もすぐ解決!ごみ分別辞典を搭載。

ごみの持ち込み先などの連絡先もすぐ分かる!地図アプリとの連携もできます。



10月1日、App StoreおよびGoogle Playにて配信開始予定!! アプリストアで、**熊本市 ごみ**で検索を! (ごみ減量推進課 ☎096-328-2365)

市長とドンドン語ろう!

8月17日に「市長とドンドン語ろう in 大江公民館」として、まちづくりについて地域の皆さんと語りました。



災害時の避難に対する情報提供について

私は災害を経験し、高齢者や障がい者など災害時に支援が必要な方にとって、初動が大事であると強く実感しました。災害時は、瞬間的な判断力を失うため、緊急性がある場合には、例えば「願います」という言葉より、強い命令口調で避難を呼び掛けるなど、工夫した情報伝達を行ってほしいです。



熊本地震を経験し、私も初動と被災している皆さんへの情報発信の方法が大切であると実感しました。地震の際もそうですが、水害や大雨の際も川沿いなどの危険地域の皆さんには、早めに避難していただくよう避難所開設の情報をテレビや市ホームページなど、さまざまな手段で情報提供しています。今後も多くの方々にわかりやすい情報が提供できるよう工夫してまいります。

街路灯の整備について

電球が老朽化し、暗くなりつつある街路灯があります。設置された電球はどのくらいの頻度で交換をしていますか。また、公衆トイレを明るくすれば観光客の方も助かるだろうし、犯罪のない明るいまちづくりに繋がると思います。



校区の防犯灯は町内自治会で管理をいただいておりますが、道路の街路灯は本市で管理を行っています。現在、既存の街路灯1万8,500機を一括してLED化する準備を進めており、数年かけて更新を行っていく予定です。今後も街路灯や公園のトイレなど暗い箇所やお気づきの点がありましたら、お近くのまちづくりセンターや土木センターにお知らせください。



熊本市長 大西一史

公園内の遊具について

公園に大人も利用できるような遊具があれば健康維持にも役立つと思いますので、検討をお願いします。



公園内の遊具については、安全のための更新にあわせて皆さんの健康づくりにも繋がるような遊具を整備するといったことは考えられます。高齢者や子どもたちなど誰もが安心して公園を利用できるよう遊具や利活用についてご意見をいただければと思います。

※やりとりは一部を抜粋したものです。